

保護者様

令和8年3月

京都市立南大内小学校  
校長 高田 陽子

### 令和7年度 学校評価アンケート<後期>

平素より本校教育推進に多大なご支援・ご協力を賜り誠にありがとうございます。

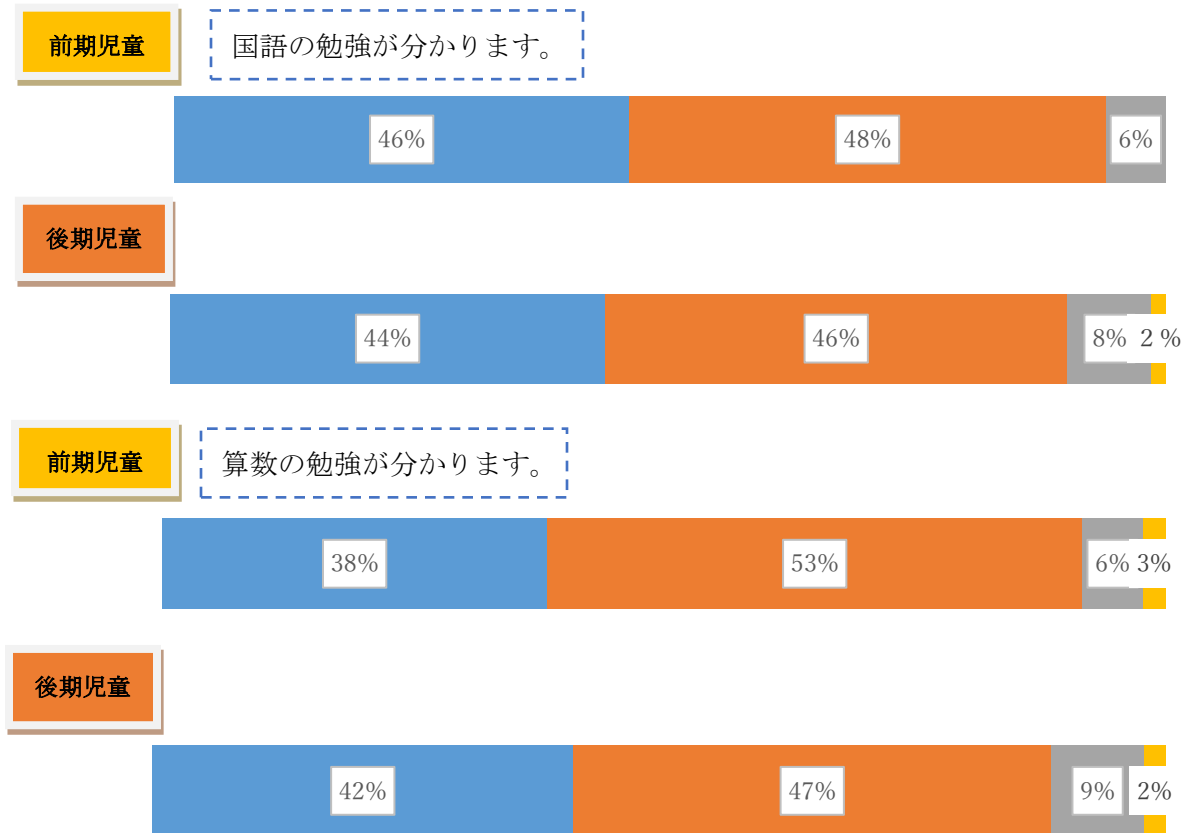
さて、12月に実施しました学校評価アンケートの結果についてお伝えします。アンケートの数値と子どもたちの様子や保護者の皆様のご意見をもとに、計画・実行・点検・検証（PDCA）のサイクルで学校教育の充実と向上を図りたいと考えております。

**\*グラフの項目、左より 「そう思う」「大体そう思う」「あまりそう思わない」「そう思わない」**

#### 1 「確かな学力」の育成に向けて

本校の学校教育目標の中に、『自らを高める』とあります。本校では子どもたちが「主体的に学ぶこと」を実現し、自らを高めることができる資質・能力を育てることを目指しています。

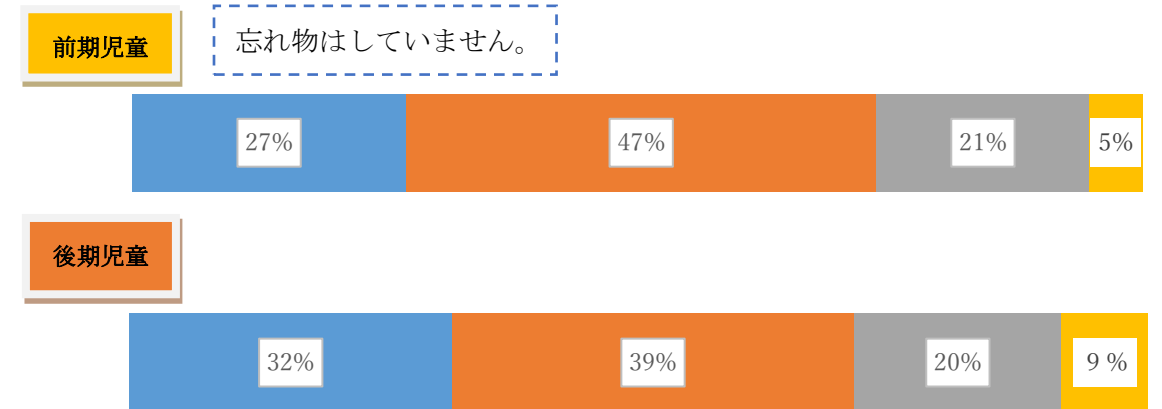
『自らを高める』を実践できているか以下のアンケート項目の結果をご覧ください。



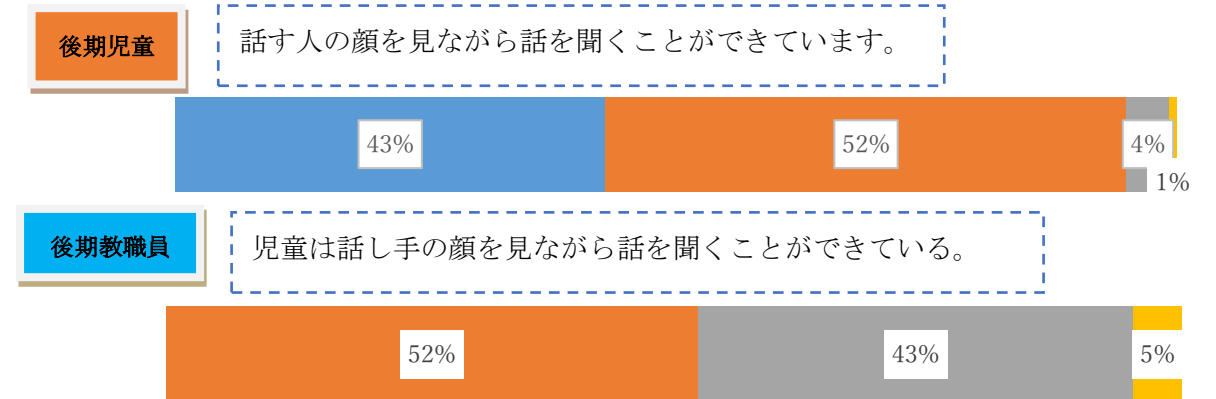
児童アンケート項目「国語・算数の勉強が分かります。」の前期と後期の比較です。国語科は「そ

う思う」「大体そう思う」と回答した割合が前期と後期で大きな変化はなく、90%以上の児童が「分かる」と解答しています。しかし、算数科の結果に目を向けると「あまりそう思わない」と回答した児童が増えていることが分かります。後期に入り、学習内容が少しずつ難しくなっていることも考えられます。また、児童に話を聞くと、「算数＝難しい」という固定概念があり、「苦手」という印象をもっている児童が多くいることが分かりました。

前期のアンケート結果の際も述べましたが、算数科は他の教科に比べて、特に積み上げが大切な教科です。児童がまずは算数が楽しいと思えるような授業であったり、取組であったりを学校全体で目指していけたらと考えています。ご家庭でもテストやプリントの直し等、サポートをお願いします。



次に児童アンケート項目「忘れ物はしていません。」の回答結果です。30%程の児童が忘れ物をしていると回答しています。教職員の目線から見ても忘れ物をしている児童は前期と比べると増えている印象を受けます。学校でも学習保障の観点からできる限りのサポートはしますが、今一度、各ご家庭でもお子たちの持ち物や忘れ物がないかの確認とサポートをお願いいたします。自分の学習用具が揃ってこそ安心して学習に向き合える部分もあるかと思えます。



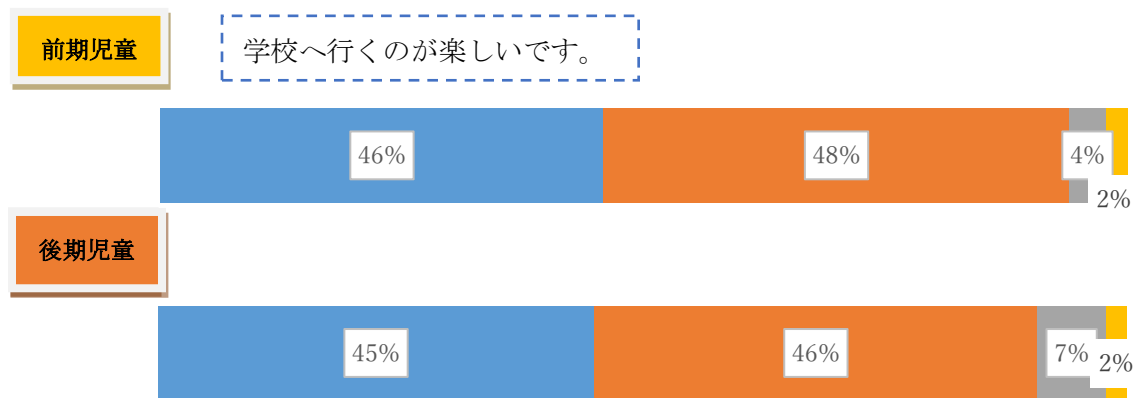
児童アンケート項目「話す人の顔を見ながら話を聞くことができます。」の回答結果と教職員アンケート項目「児童は話し手の顔を見ながら話を聞くことができる。」の回答結果と比較すると大きな差があることが分かります。子どもたちは、「話す人の顔を見て聞くことができる」と自己評価していますが、教職員からは、「姿勢や視線だけでなく、相づちや受け止め方なども含めた

聞き方について、より意識づけが必要である」との評価がありました。

この結果は、子どもたちが聞く姿勢の基礎を身につけていることを前向きに捉えるとともに、学校としてはさらに質の高い対話を育てていきたいと考えていることを示しています。今後は、授業や日常生活の中で「どのように聞いているか」を振り返る機会を大切に、話す力・聞く力を伸ばすことにつなげていきます。

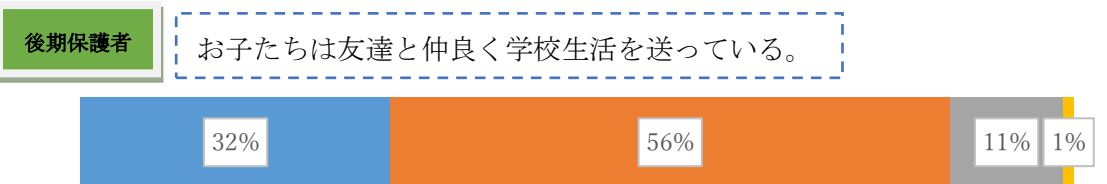
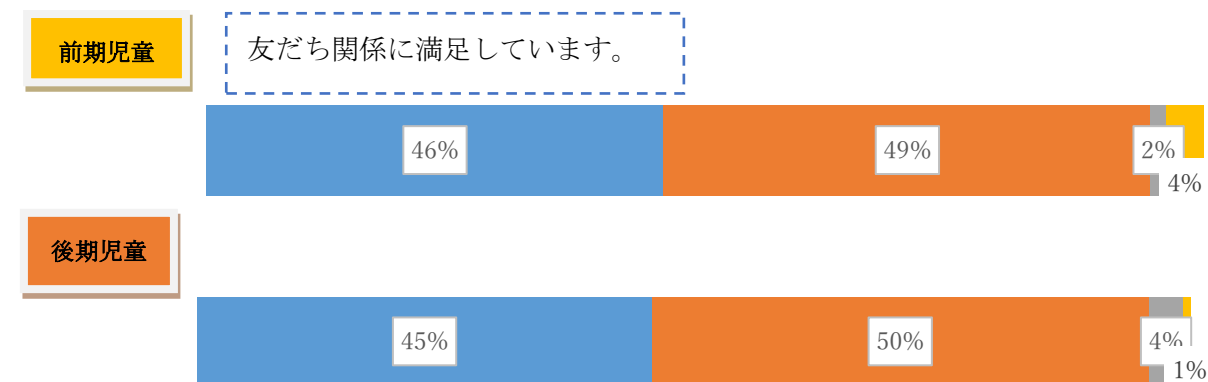
## 2 「豊かな心」の育成に向けて

豊かな心の育成のためには、互いに、支えあい、高め合う集団作りが大切です。そして、豊かな友だち関係は学校が楽しいと感じられる大きな要因です。子どもたちが日々の学校生活を安心して笑顔で過ごすことで、豊かな心の育成につながると 생각합니다。



児童アンケート項目「学校へ行くのが楽しいです。」の前期と後期の比較です。後期も前期と同様に楽しいと感じている児童が多いことがわかります。しかし、「あまりそう思わない」に着目すると後期が若干増加していることがわかります。

後期はたくさんの行事があり、楽しみながら参加している児童が多い反面、それらの行事を苦手を感じていたり、児童間でのトラブルがあったりします。私たち教職員はそれらの児童一人ひとりの思いや気持ちにより耳を傾けるため、アンケートを実施したり、児童一人ひとりと面談を行ったりしています。児童の何気ない言動に気づき、今後も声かけをしていこうと思います。その取り組みが、児童にとって学校がより安心できる場所になるものだと考えています。学校全体で「学校が楽しい」と思える児童を増やしたいと思います。

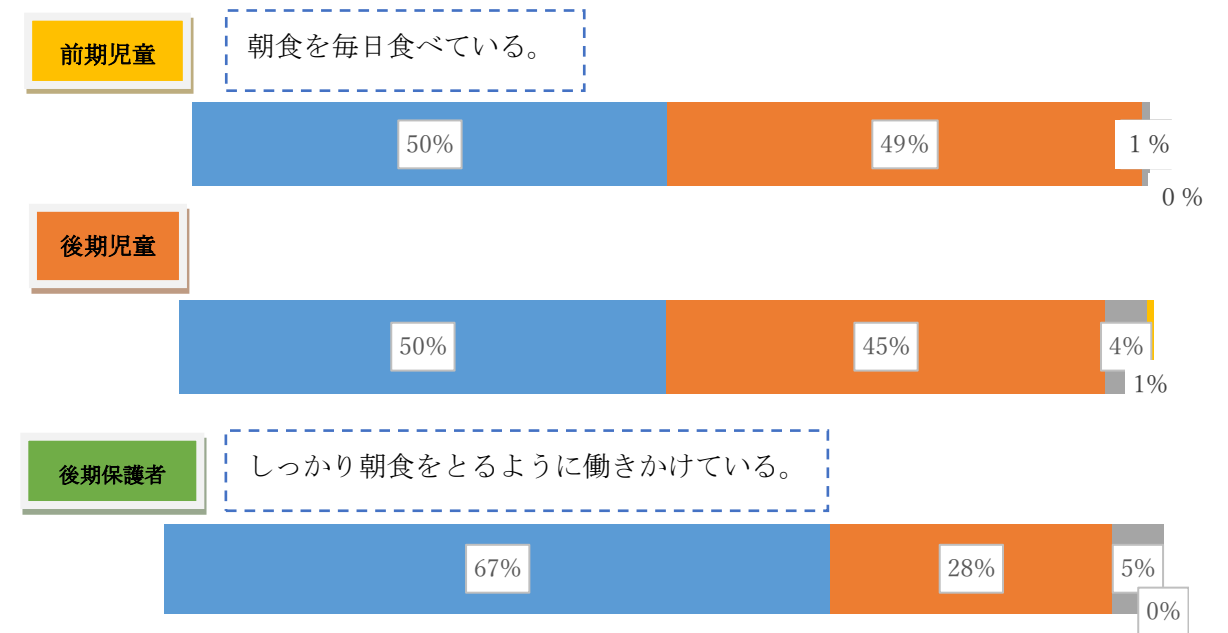


児童アンケート項目「友だち関係に満足しています。」の結果を見ると、前期と同様に9割以上の児童が満足していると回答しています。さらに「あまりそう思わない」「そう思わない」に着目すると1%ですが、減少しています。このことは喜ばしいことです。また、保護者アンケート項目「お子たちは友だちと仲良く学校生活を送っている。」の結果を見ると9割弱の保護者の方が友だちと仲良く学校生活を送っていると回答しています。

しかし、友だち関係に満足していないと回答した児童がいます。このことには教職員一同、しっかりと目を向け、児童間トラブルを丁寧に解決していこうと考えています。また、友だち関係での様子をしっかりと観察し、理解していこうと思います。

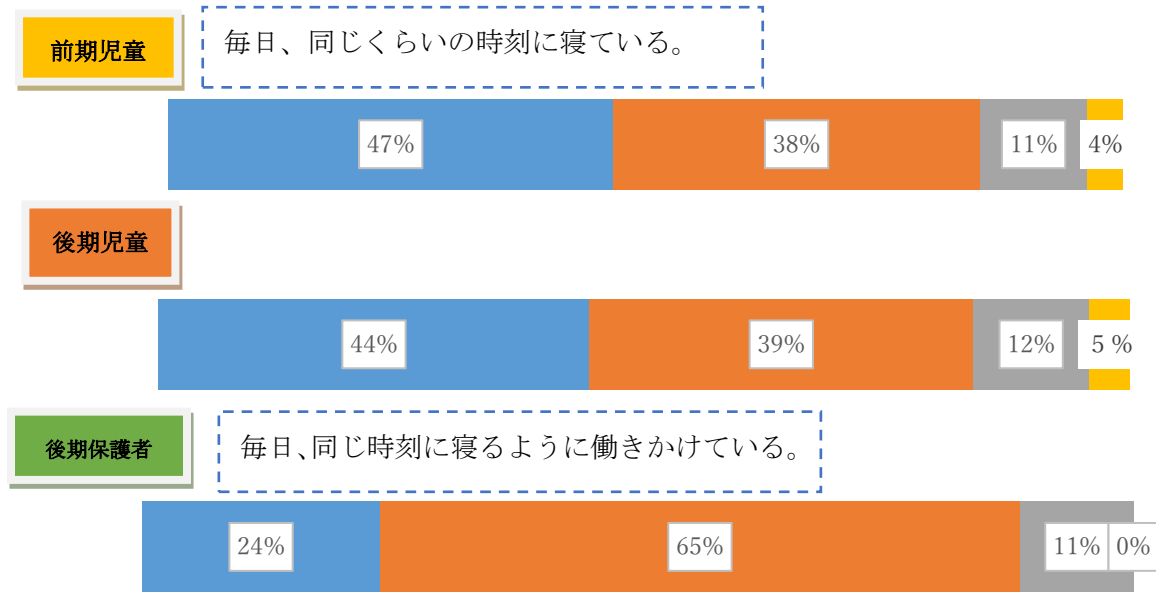
## 3 「健やかな体」の育成に向けて

健やかな体の育成のためには学校や家庭、地域が協力して子どもたちに呼びかけていくことが大切です。そのためには規範意識をもち、規則正しい生活をするのが必須になると考えます。学校や家庭での子どもたちの様子を正確に把握し、健やかな体の成長を目指していきたいと思っています。



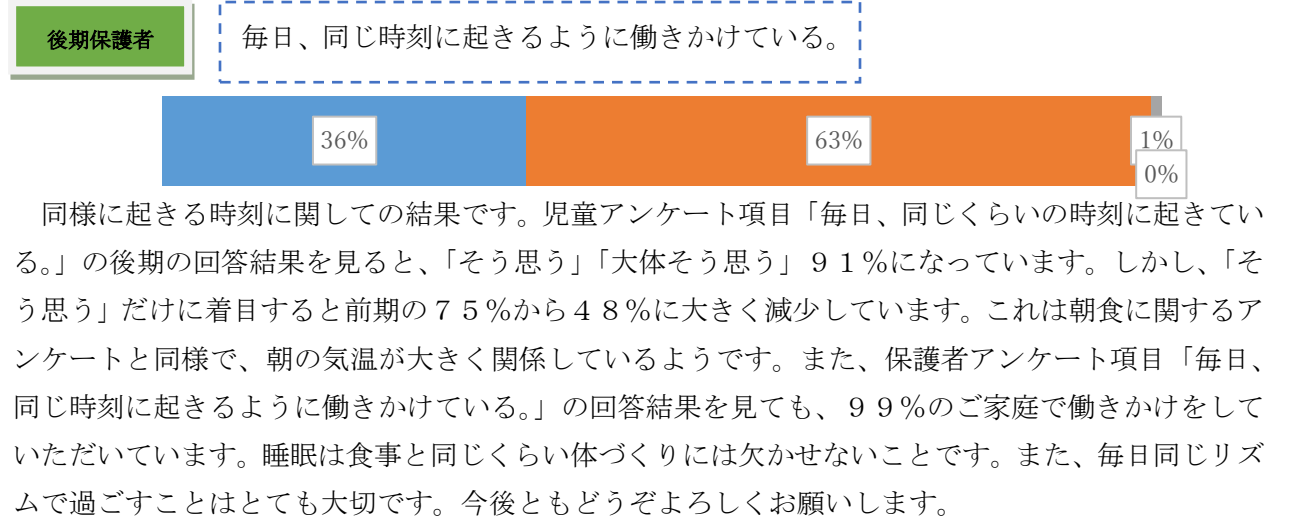
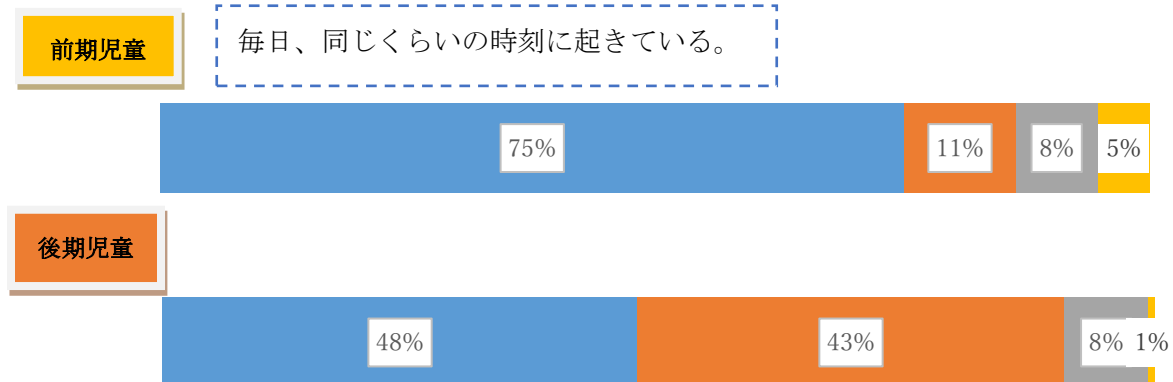
児童アンケート項目「朝食を毎日食べている。」の回答結果を見ると、前期ほぼ100%の児童が朝食を食べていると回答していたのに対し、後期は朝食を食べていないと回答した児童が少し増加しました。児童に話を聞くと、朝の気温が低く、なかなか布団から出ることができず、朝食を食べるこ

とができない日があるということでした。保護者アンケート項目「しっかり朝食をとるように働きかけている。」の回答結果を見ると、大部分のご家庭が働きかけをしていただいています。寒い季節だからこそ、朝食はしっかりとって1日を元気にスタートしてほしいと思います。今後も学校と家庭が協力して呼びかけていけたらと思います。

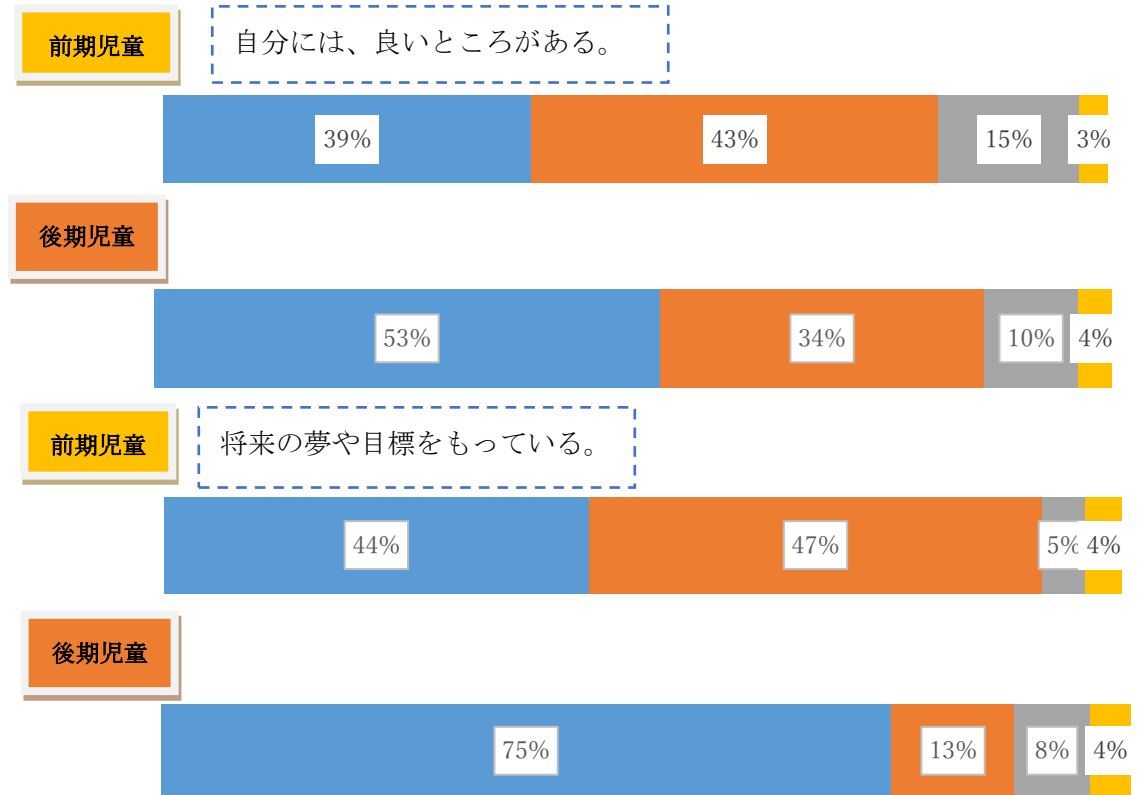


児童アンケート項目「毎日、同じくらいの時刻に寝ている。」の回答結果を見ると、前期と比較して大きな変化はありません。しかし、「あまりそう思わない」「そう思わない」が1%ずつ増加しています。児童に話を聞くと、高学年の習い事や塾などで、なかなか定まった時刻に寝ることは難しいと話してくれました。保護者アンケート項目「毎日、同じ時刻に寝るように働きかけている。」の回答結果を見ても、多くのご家庭でお子たちがしっかりとした生活が送れるように働きかけていただいているようです。

さて、冬休み後に実施した生活チェックの結果では、22時以降に就寝している児童が増えています。1月に行われた学校保健委員会でも、学校医さんから「インフルエンザ等に負けない強い免疫力は、やはり睡眠と食事が大切」というお言葉がありました。ご家庭でもご協力をお願いいたします。



#### 4 その他



児童アンケート項目「自分には、良いところがある。」と「将来の夢や目標をもっている。」の前期と後期の比較です。両項目とも「そう思う」に着目すると、前期よりも増加していることが分かります。これは大変喜ばしい結果です。児童に話を聞くと、学活や道徳の時間に担任の先生からいろんな話を聞いたり、友だち同士で話し合ったりする中で、自分の良さに気づいたり、発見したりするようです。また、授業でいろいろな職業や夢にふれる中で興味をもつことがあるそうです。今後も児童に寄り添い、自信をもって多くのことに挑戦する児童を育てていきたいと思ひます。